

森林環境譲与税に関する決算状況一覧

市町村 名	事業 区分	事業名	事業費総額（千円）				事業内容	実績	事業効果 税導入の効果（総括）
				内当該年 度の森林 環境譲与 税（千円）	内基金 取り崩 額（千 円）	内 他 の 財源（千 円）			
大口町	木造 公共 建築 物の 整備 等	施設維 持事業	2,090	1,500	0	590	町内外から利用さ れる「尾北自然歩 道」の休憩施設（ベ ンチ・四阿）を更新 した。	休憩施設の 木材による 更新	【ワンフリーズ】 多くの方が利用する遊歩道の休憩施 設の更新で、木材を利用し「森林環 境譲与税」を財源とすることができ た。 【詳細】 3市1町を跨ぐ全長約27kmのハイ キングコースである「尾北自然歩 道」の休憩施設の更新を「森林環境 譲与税」を活用し、その表示（プレ ート）をすることで広くPRするこ とができた。

大口町では、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律第12条第1項の規定に基づき、国及び愛知県が定めた方針に即し、大口町の建築物等における木材の利用促進のための施策に関する基本的事項、町が整備する公共建築物における木材の利用に関する目標の他、木材の利用の促進に関し必要な事項を定めた「大口町建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を令和4年12月1日に策定した。

➤尾北自然歩道は、愛知県を横断する東海自然歩道の枝線として昭和47年に開設され、犬山市の入鹿池を起点とし、大口町、江南市を通り、岩倉市の希望の家（岩倉市川井町）を終点とする五条川堤防を利用した全長約27kmのハイキングコースで、うち、7.2kmが本町にあります。

➤町内外から利用される「尾北自然歩道」に、木製人道橋「花見橋」（令和5年3月）の新設に引き続き、休憩場所となっている木製ベンチ等の更新を計画的に実施しながら、森林環境譲与税の目的である木材利用促進並びに普及啓発にかかわる表示を併せて設置することで広くPRができると考える。

■ 事業内容

1 公共施設の木質化事業

尾北自然歩道の付属施設である休憩場所の木製ベンチ等の更新を計画的に実施する。

【総事業費】 10,000千円

【整備内容】 ベンチ51基 四阿2基

【本年度計画】

【事業費】 2,090千円（森林環境譲与税充当額1,500千円）

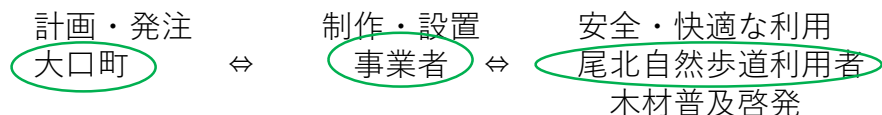
※森林環境譲与税を充当できるもの以外は基金に積み立てるものとする。

【整備内容】 ベンチ11基 四阿2基

木材使用量 0.8㎡



■ 事業スキーム



■ 工夫・留意した点

- ・ あいち認証材を活用してベンチ等の更新を行い、「尾北自然歩道」利用者が、安全で快適に休憩できる空間を提供するため、付属施設のメンテナンスも併せて行った。
- ・ 県産木材の促進や普及啓発のPR用プレートを設置した。

■ 基礎データ

①令和5年度譲与額	2,830千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	24,305人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3、4：「R2国勢調査」より、